

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 737 号	氏名	西中川 剛
学位審査委員	主査	澤井 照光	
	副査	沖田 実	
	副査	高村 昇	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、大気汚染と喫煙による二重曝露が女性の呼吸機能に与える影響を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 倉敷市ならびに北九州市に在住する女性の公害認定患者 655 名を大気汚染群、長崎市に在住中の一般女性 572 名を対照群とし、それぞれ喫煙者と非喫煙者に分類した。呼吸機能に対する大気汚染の影響については共分散分析により年齢補正を行い、大気汚染と喫煙との相乗効果については二元配置分散分析を用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、公害認定患者の呼吸機能低下は、40 年間の継続的な医療介入によっても改善傾向を示さなかった。大気汚染と喫煙による二重曝露によって%FEV₁と%VCはさらに有意な低下を示しており、女性の喫煙習慣は大気汚染曝露下において著しく呼吸機能を低下させる危険性が示唆された。上記の結果は、新興国の急速な経済発展に伴う大気汚染が世界的問題となっている中、公衆衛生分野への取り組みに大いに寄与するものと期待される。</p> <p>以上のように本論文は呼吸器分野の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			